

平成22年度第2回秋田大学経営協議会議事要旨

日 時 平成22年7月30日（金）
（第1部）13：30～14：15
（第2部）14：25～15：10

会 場 本部管理棟3階 第1会議室

出席者 吉村学長（議長）， 銭谷， 根岸， 平山， 渡邊， 對馬， 後藤， 新開， 荻原，
熊田各委員

監 事 渡部， 小林各監事

陪 席 吉岡理事， 池村教育文化学部長， 本橋医学系研究科長， 西田工学資源学研究
科長， 大好附属図書館長

欠席者 小笠原， 小山田各委員

【第1部】 審議・報告事項

議 事

1. 平成22年度第1回経営協議会議事要旨の確認
平成22年度第1回経営協議会議事要旨が確認された。
2. 審議事項
 - （1）国立大学法人秋田大学職員給与規程の一部改正について
對馬理事から資料により説明があり，了承された。
 - （2）国立大学法人秋田大学医員及び医員（研修医）就業規則の一部改正について
對馬理事から資料により説明があり，了承された。
 - （3）国立大学法人秋田大学における教育系職員の任期に関する規程の一部改正について
對馬理事から資料により説明があり，了承された。
 - （4）秋田大学大学院工学資源学研究科共同大学院の設置について
西田工学資源学研究科長から資料により説明があり，了承された。
3. 報告事項
 - （1）第1期中期目標期間事業報告書について
熊田学長特別補佐から事業報告書について6月末に文部科学省に提出し，内容については，本学ホームページにて掲載している旨報告があった。
 - （2）会計監査人の選任について
後藤理事から資料により，報告があった。
 - （3）積立金の処分に係る承認及び国庫納付等について
後藤理事から資料により，報告があった。
 - （4）学長手持ち人件費による教員の配置について
学長から資料により，報告があった。

- (5) 国立大学法人化後の現状と課題について（中間まとめ）
学長から資料により、報告があった。
- (6) 国立大学法人学長・大学共同利用法人機構長等会議について
後藤理事から資料により、報告があった。
- (7) 平成23年度国立大学関係予算をめぐる最近の動向について
学長から資料により、報告があった。
なお、委員から以下のような意見があった。
- ・教育研究費を一律に圧縮するのではなく、これを契機に評価の高いものに選択集中し、大学の特色を打ち出すことも重要ではないか。
 - ・国に対して主張すべきところは主張する姿勢が大事。資源のない我が国にとってヒト造りは国家存亡に関わってくる。大学には頑張ってもらいたい。
- (8) 経営協議会における意見の対応状況について（平成22年7月30日）
学長から資料により、報告があった。

4. その他

- (1) その他
特になし

【第2部】特定課題に関する意見交換

- (1) 国際交流事業の中長期的な戦略について
榎本学長特別補佐から資料により本学の国際交流事業及び国際戦略構想について説明があり、学外委員から以下のような意見が出された。
- ・積極的に国際戦略を立てていただいていることは理解できたが、この国際戦略構想についてはもっとわかりやすくシンプルにまとめられないか。例えば、国際教養大学は、外国の大学との連携は学生交流を軸としているといった目的が明確でありわかりやすく具体的である。
 - ・最近、秋田県の韓国からの視察が多いが、韓国では地方と都心部の学力格差が非常に激しいため、地方でも良い教育が受けられる日本の教育についてノウハウを学びたいからである。秋田大学は、秋田の学力向上に多方面から影響を与えていることから、こういうことも国際交流戦略を立てる上でのヒントになると思う。

◎その他連絡事項

- ・次回の経営協議会については、9月中旬に調整させていただく旨連絡があった。

以上